



須賀川市旭町153-1
(郵便番号962-0834)
電話0248-75-7805
FAX 0248-75-7824

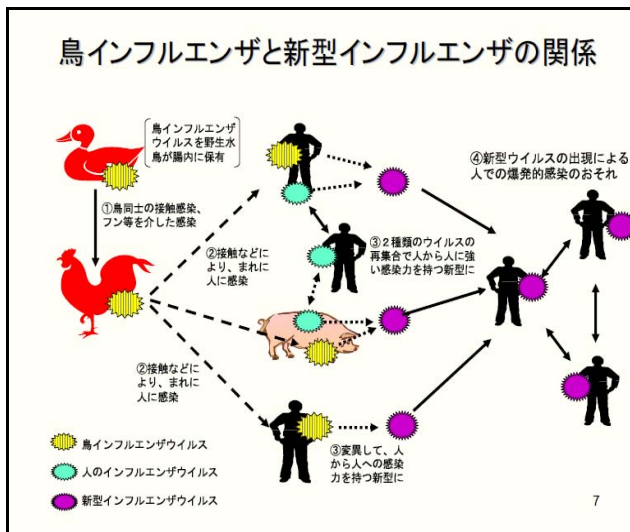
新型インフルエンザとは

ヒトに感染するインフルエンザには**Aソ連型、A香港型、B型等**があり、私たちが毎年接種しているワクチンも、この3つの型のウイルスの抗原を混合したものです。一方、インフルエンザウイルスは多くの動物にも感染し、中でもカモなどの水鳥はソ連型でも香港型でもないたくさんの種類のA型ウイルスを保有しています。この中のいくつかの型は、鶏などに感染すると非常に強毒性で致死率が高いため、**高病原性鳥インフルエンザ**と呼ばれています。日本でも京都府などで発生した際、病気の蔓延を防止して封じ込めるため、多数の鶏が殺処分されたことは記憶に新しいところです。

インドネシア、ベトナム、エジプトなどでは高病原性鳥インフルエンザが鳥からヒトに感染した事例が397人あり、このうち249人が死亡しています。(平成21年1月19日現在)これらは病気の鳥との濃厚な接触によって感染したと考えられており、ヒトからヒトに感染したと考えられる事例はごく稀にしかありません。

しかし、もしも遺伝子の突然変異によって容易にヒトからヒトへの感染が起こるようになれば、ヒトはこれらのウイルスに対して免疫がないため、**世界的な大流行(パンデミック)**と言います。)になるおそれがあります。これが**新型インフルエンザ**です。

国や県では新型インフルエンザの発生に備えて行動計画、ガイドラインを策定し、治療薬の備蓄や医療体制整備を進めようとしていますが、個人でもできる対策として、ひとりひとりが次のようなことを心がけてください。



- 1 インフルエンザは**咳やくしゃみでうつります**。このような症状があるときは**マスクを着けましょう**。
- 2 **熱があるときは**自分の健康回復のためにも、また他人にうつさないためにも**外出しないで静養しましょう**。
- 3 いざというときのため、**2週間程度の食糧、日用品を準備しておきましょう**。
- 4 仕事を休む場合、家族の看病をする場合、子どもの学校が休校なった場合などのことを**日ごろから想定しておきましょう**。

目次

新型インフルエンザとは	1
～福島県精神保健福祉協会県中支部講演会のお知らせ～	2
「障害者自立支援法施行後3年の見直し」	2
～気をつけよう レジオネラ属菌～ 風呂のパイプも清掃しましょう!	3
平成20年度子育て週間参加事業イベント報告	3
平成21年2月1日(日)～7日(土)は「平成20年度生活習慣病予防週間」です	4
第12回県中地方公衆衛生大会を開催しました!	4
みんなで止めよう 温暖化～チーム・マインクス6%～	4
編集後記	4

2009年FISフリースタイル世界選手権猪苗代大会が2009年3月2日～3月8日まで開催されます。

～福島県精神保健福祉協会県中支部講演会のお知らせ～

当協会では、「こころの健康づくり」について、希望する講師を招いての講演や講話を無料でお受けしております。今回、「人格障害」をテーマに講演会を開催しますので、関心のある方はどなたでもご参加ください。

テーマ「人格障害の特徴とその対応の仕方」

講 師 : 福島大学大学院 教授 渡辺隆先生
日 時 : 平成21年3月17日(火) 13:30～15:30
場 所 : 福島県県中保健福祉事務所 大会議室
定 員 : 70名



申込方法 : 参加希望の方は3月10日(火)までに電話でお申し込みください。
申 込 先 : 県中保健福祉事務所 保健福祉課 障がい者支援チーム
〒962-0834 須賀川市旭町153-1
電話 0248-75-7811 FAX 0248-75-7824

「障害者自立支援法施行後3年の見直し」



厚生労働省は平成20年12月、社会保障審議会障害者部会における障害者自立支援法の見直しについて取りまとめ、その内容を公表しました。主な項目についてご紹介します。

<見直しに当たっての視点>

- ① 障がい者にとってより良い制度となるかどうかという「**当事者中心に考えるべきという視点**」
- ② 障がい者ができるだけ地域で自立して暮らせるようにするという基本理念の下、「**障がい者の自立を更に支援していくという視点**」
- ③ 安定的なサービス提供体制の確保という観点も考慮しながら、不都合については改善を図り、「**現場の実態を踏まえて見直ししていくという視点**」
- ④ 障がい者の自立を国民皆で支え、共生社会を実現していくために、「**広く国民の理解を得ながら進めていくという視点**」

<主な項目>

- 地域の相談支援体制の強化や質の向上を図るとともに、自立支援協議会の法律上の位置付けを明確にするべきである。
- グループホーム等について、夜間支援等を充実するとともに、身体障がい者を対象にするべきである。
- 放課後や夏休みの支援のため「放課後型のデイサービス事業」を実施するべきである。
- 発達障がいや高次脳機能障がい、法の対象に含まれることを明確にするべきである。
- 特別対策等による利用者負担軽減は、平成21年4月以降も更に継続して実施するべきである。
- 旧法の施設に入所していた方の継続入所は、平成24年4月以降も継続するべきである。
- 障がい福祉サービスの質の向上、良質な人材の確保と事業者の経営基盤の安定等のため、平成21年4月に報酬改定を実施するべきである。

～気をつけよう レジオネラ属菌～ 風呂のパイプも清掃しましょう！

みなさんのお宅では、毎日浴槽を洗って風呂に入っていることと思います。

しかし、追い炊き機能付き風呂や24時間循環風呂のパイプの部分は、なかなか清掃できないのではないかと思います。パイプの部分には湯ドロが形成され、そこには**レジオネラ属菌**が住み着いています。

レジオネラ症は、レジオネラ属菌を吸い込む等により感染します。特に、乳幼児、高齢者や免疫力の低下した人などが発症しやすい感染症です。肺炎に似たような症状で**高熱、悪寒、筋肉痛**が続き重症化し死亡する場合があります。

発症の原因はあまり明らかになっていませんが、**発症が年々増加**しており、家庭風呂も原因になっている可能性があります。



“風呂のパイプも時々清掃し、レジオネラ属菌の住み着きを防ぎましょう。”

なお、清掃にはホームセンターで販売している専用の洗浄剤が便利です。



平成20年度子育て週間(平成20年11月9日(日)～11月22日(土))

参加事業イベント報告



福島県県中方部子育て支援連絡会議(事務局：福島県県中保健福祉事務所)では、子育てしやすい県づくりの気運の盛り上げを図るため、「子育てがもっと楽しくなる！～みんなで支え合おう子育ての輪～」を全体テーマとして、平成20年11月16日(日)の「子育ての日」に、田村市との共催により、田村市文化センターにて、子育て支援イベントを開催しました。



すずき みのる

ホール1階会場では、(有)アイエルワイ代表の鈴木 稔 氏の講演:「言うことをきかない子どもの対応法～感情的にならない子育てのコツ」、田村市子育て支援センター所

長の助川 純江 氏、すけがわ すみえ「伝承遊びザックの会(須賀川市)」会長の後藤 幸子 氏、ごとう さちこ「キッズ・クラブ(小野町)」代表の吉田 三枝子 氏の事例発表に基づく「子育てシンポジウム」を行いました。

また、1階エントランスホールの会場では、**県中方部の市町村、子育て支援団体、県等の活動を紹介するパネル(写真等)なども展示**しました。

参加者は、約230名で、当連絡会議発足後最初の子育て支援イベントとして、好評のうちに終わることができました。今後ともよろしく願いいたします。



平成21年2月1日(日)～7日(土)は「平成20年度生活習慣病予防週間」です

■平成20年度のスローガンは「自分流 楽しく続ける 健康づくり」

日本人の三大死因であるがん、脳卒中、心臓病をはじめとして、多くの疾病の発症や進行に生活習慣が深く関わっていることが明らかになっています。



生活習慣病を予防するためには自らの生活習慣を見直し、健康づくりのために正しい食生活や運動等を実践することが重要です。

また、自分の身体の状態を知るために健診も大切です。

健診受診率
50%目標！

■県中地域がん医療推進ネットワーク会議を立ち上げました！

県中保健福祉事務所では、福島県がん対策推進計画※に基づき、県中地域がん医療推進ネットワーク会議を2回開催しました。県中地域における各関係機関の連携などについて協議するとともに、在宅緩和ケアの普及啓発等を推進しています。

※福島県では平成20年3月に第五次福島県医療計画や福島県がん対策推進計画を策定し、疾病に応じた医療体制の構築をうたっています。

健康づくりのための情報やネットワーク会議の詳細は、県中保健福祉事務所のホームページ(<http://www.pref.fukushima.jp/kenchuhofuku/>)をご覧ください。

第12回県中地方公衆衛生大会を開催しました！

昨年11月17日(月)たまかわ文化体育館において、公衆衛生事業に功労のあった方々94名(団体3、個人91名)へ表彰・感謝状の贈呈を行いました。

わけ やま のざき ひろみつ

表彰式後には、「分とく山」総料理長 野崎 洋光 氏による、「食による健康寿命の延伸～おいしく食べて楽しく健康～」の特別講演を行い、会場内では、県中地区食生活改善推進員の皆さんから提供いただいた健康食レシピ集を参加者に配付しました。

健康食レシピ集は、下のアドレスからも見るができます。

普段の食生活にぜひご活用ください。

<http://www.pref.fukushima.jp/kenchuhofuku/kenkoudukurireshipi.pdf>



【健康食レシピ集表紙】



みんなで止めよう温暖化 ～チーム・マイナス6%～



当事務所では、温暖化防止対策を推進するため、“寒いときには着る” “過度に暖房機器に頼らない”という原点に立ち返り、“WARMBIZ”を基本コンセプトにできるだけ室温を19度に保つことに努めています。皆様の御協力を御願いたします。

ウォームビズ

“WARMBIZ”とはあくまでも過剰な暖房を抑制する呼びかけであり、その目的は、暖房に必要なエネルギー使用量を削減することによって、二酸化炭素の発生を削減し、地球温暖化を防止することです。

チーム・マイナス6%とは、地球温暖化対策で日本が世界に約束した、「日本の温室効果ガス排出量を1990年と比べて6%削減すること」を実現させるための国民的プロジェクトをいいます。

編集後記



厳しい寒さが続いていますが、風邪など引いていないでしょうか。風邪予防の基本は、「手洗い・うがい」と「規則正しい生活」が大切です。寒い冬を乗り切り、元気に春を迎えましょう。K・I

～このニュースレターは、県中保健福祉事務所の監修のもとに県中地区衛生組織連合会の事業の一つとして作成しています。～